

支援プログラム

事業所における基本情報

- ① 事業所名
学校法人岩口学園 児童発達支援センターげんき
- ② 作成年月日
令和7年2月20日
- ③ 事業所理念
 - ・ 未来を担う子どもたちに、適切な療育環境を提供します。
 - ・ 各人の人格、個性を大切に、子ども中心の生活を実践します。
 - ・ 人間として育つ「心の教育」をモットーに、心身の発達を助長し、共に学び共に育つ「共育力」を伸ばす療育を実践します。
- ④ 支援方針
 - ・ 一人ひとりの子どもたちが、生き生きと成長するための支援を行います。
 - ・ 小集団での活動を通して、人との関わりやコミュニケーションの力を伸ばし、生活していくためのよりよい手立てを見つけます。
 - ・ 感覚統合的な遊びや楽しい活動の中で、心身の全体的な発達を促します。
 - ・ ご家族の子育てのお手伝いをします。(家族勉強会、ペアレントトレーニング等)
- ⑤ 営業時間
月～金曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日及び12月29日から1月3日までを除く)
午前9時～午後5時
- ⑥ 送迎実施の有無
単独通園児の送迎あり

支援内容

- ⑦ 本人支援の内容と5領域の関連性

「健康・生活」

基本的な生活習慣の獲得、給食による摂食機能の向上、心身の健康に対する関心とスキルの向上、嘱託医師による健康観察・健康診断、歯科医による歯科検診などを通して、健康・生活に関する支援を行います。

「運動・感覚」

大型遊具や感覚統合療法で用いる遊具類を用いたサーキット活動、ミュージック・ケアなどの楽しい遊びや運動活動を通して、基本的動作や協調運動動作の習得、姿勢保持・体幹機能の向上、バランス感覚・ボディイメージ力などが向上するように支援します。また、視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有受容覚などの基礎感覚の発達を促す活動を通して、感覚の統合促進、感覚調整の円滑化を図ります。

「認知・行動」

療育環境の構造化や認知発達課題の設定により、見る・聞く・記憶・概念・象徴などの力が身につくように支援します。また、必要な情報を取り出し、注目・理解して

行動できるように支援します。

「言語・コミュニケーション」

物・写真・絵・文字カードや身体を使ったモデリングなどの視覚支援、ミュージック・ケアでの擬音語・擬態語の発語・身体表現活動、名詞・動詞・形容詞などの言語発達を促す活動、言語と行動を結びつける課題設定などを通して、言語とコミュニケーション力の向上を図ります。

「人間関係・社会性」

親子療育を通して愛着関係の形成・安定化を図るとともに、対人遊びなどにより他者との対人関係が高まるよう支援します。また、コミュニケーションを必要とする遊びやソーシャルスキル・トレーニングなどにより、社会性を身に付けられるよう支援します。

⑧ 家族支援（きょうだいへの支援も含む。）の内容

保護者勉強会を実施し、保育や療育、就学に関する情報を提供します。また、個別支援計画やモニタリングなどの定期的な面談以外にも、利用児やきょうだい児の支援方法などについて、必要に応じ保護者面談を行います。

⑨ 移行支援の内容

並行通園を予定している保育所等と、利用児の状況や支援内容の情報を共有し、利用児や家族、就園予定先の連携が円滑に進むよう支援します。また、移行後も保護者への相談支援、保育所等との連携支援を行います。

⑩ 地域支援・地域連携の内容

関係機関（医療・療育・母子保健機関、保育園、学校等）との情報共有、地域の保育所等への連携支援、自立支援協議会子ども部会コア委員就任、クリスマス会や餅つき会への地域の方の参加、施設実習生の受け入れなど地域との連携に努めています。

⑪ 職員の質の向上に資する取組

定期的に事業所内職員研修を行うほか、必要に応じ外部研修や資格取得のための講習会を受講するなど職員の資質向上に努めています。

⑫ 主な行事等

春のなかよし遠足、夏祭り、ミニ運動会、消防署見学、クリスマス会、餅つき会、豆まき会、お別れ遠足、卒園式、地域の園との交流